

学校だより

岳陽魂



令和6年4月30日

富士市立岳陽中学校

令和6年度がスタートしました

令和6年4月5日（金）、252名の新入生を迎え、全校生徒733名で令和6年度の岳陽中学校がスタートしました。明るくエネルギッシュな子どもたちの良さが、最大限発揮できるよう、職員一同、一致団結して教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、温かなご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

【入学式 校長式辞より】（一部抜粋）

今日は、中学校生活のスタートという門出に際し、私から皆さんに心にとめておいてほしいことを二つお話します。

一つは、「千の子どもに千の花」ということです。「人はそれぞれ皆、個性の違う花がある。違いがあるからこそ、美しい。その美しさに優劣はなく、誰もが等しく 尊い存在である。」ということです。皆さん一人一人は、宇宙にたった一人しかいない「かけがえのない存在」です。皆さんが命を授かり、守り、育てられ、本日こうして入学式を迎えられたこと自体が素晴らしいことであり、尊いことです。あなたの存在は、「奇跡」そのものです。岳陽中であなただけの素敵な花を咲かせてほしい。さらに言えば、今日出会ったばかりの隣に座っている友だちも、あなたと同じ「かけがえのない奇跡の存在」であることにも気付いてください。私は、皆さんに自分とは違う個性や考えを持った友だちのことも 自分と同じように大切にできる人になってほしいと願っています。「千の子どもに千の花」心のノートに書いておいてください。

伝えたいことのもう一つは、皆さんには素晴らしい可能性と未来があるということです。本気になってチャレンジすれば何でもできる。そして、その無限の可能性を広げて、未来をより輝かせるために、必要な力があります。それが、学校教育目標の「一生懸命ががんばる」という心の力です。「一生懸命」という心は、自分自身が決意すれば何時でも何処でも発揮できる力です。過去の経験や年齢もまったく関係ありません。人と比べる力でもなく、既に皆さんの心の中に備わっている才能です。

そこで、皆さんに考えてほしい「問い」があります。それは、「一生懸命 ががんばる」ことを続けると、最後は一体どうなるのか？ この問いの正解は一つではありません。人それぞれにあるでしょう。あなたは、どう思いますか？ 今年、六十歳になる私の人生経験から言える私の正解は、「一生懸命 ががんばる」ことを続けていると、最後には「自分で自分のことが好きになる」という答えです。一生懸命ががんばった結果が例え、どんな結果であろうとも、精一杯ががんばった自分、本気で努力した

自分のことを最後には、褒めてあげていく気持ちにたどり着くものだと思います。自分で自分のことを好きになることは、人が幸せになる第一歩だとも思います。「一生懸命 ががんばる」ことを続けると、最後には一体どうなるのか…。この問いに対する答えは、あなたが岳陽中学校での三年間の学校生活を通して探し求め、あなた自身の正解を導き出してください。



学校携帯電話

- ①080-4204-2591
- ②080-3758-3808
- ③090-6530-9536
- ④080-3405-6276
- ⑤090-9840-6491

本校では、利用料金が定額制の学校用携帯電話を5台導入しております。左の電話番号をご登録等いただき、学校から連絡があった場合には、ご対応いただくようお願いいたします。なお、学校へ連絡する場合は、学校の固定電話（71-7955）または携帯電話にリダイヤル（学校固定電話に転送されます）くださいますようお願いいたします。

【工事のお知らせ】体育館西側にある技術科棟を撤去する工事が、5月7日（月）から始まります。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。